

別記様式第11号（第32条関係）

※ 受理警察署	※ 欄は記載不要(以下同じ)	署					
※ 受理番号		年月日		年	月	日	

服 装 変 更 届 出 書  
~~護 身 用 具~~

警備業法 第16条第3項 において準用する同法第11条第1項の規定により届出をします。  
~~第17条第2項~~

不要な文字は二重線で消す。(服装変更の場合は第17条第2項、護身用具変更の場合は第16条第2項を消す。)

届出日を記載

令和●年 ●月 ●日

京都府公安委員会 様

届出者の氏名又は名称及び住所

フリガナはカタカナで記入し、濁点は1マスに記入する。姓と名は1マス空ける。なお、株式会社は(KK)、有限会社は(コウ)と略記する。

京都市○○区△△町1番地1  
 □□警備保障株式会社  
 代表取締役 都 太郎

(フリガナ) 氏名又は名称	シカクシカクケイヒ、ホシヨウ (KK)	個人営業の場合は営業者氏名、法人の場合は法人名称を記載
	□□警備保障株式会社	
認定をした公安委員会の名称	京都府公安委員会	
認定の番号	6 1 0 0 0 ● ● ●	
変更事項の種別	①. 服装に係る事項      2. 護身用具に係る事項	
変更年月日	令和 ● ● 年 ● ● 月 ● ● 日	年月日が1桁の場合は頭に0を付し「01」月等と記載
変更事項	新	旧
	別紙のとおり	
変更の事由	新規に冬用女性用制服を制定したことに伴う変更	

服装届出書又は護身用具届出書に準じ、別紙に服装の色、型式、標章、当該服装を用いて行う警備業務(護身用具の場合は種類、規格、機能、使用基準、当該護身用具を携帯して行う警備業務)を記載し、写真を添付する。  
 ※ 記載要領は服装届出書、護身用具届出書を参照

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 不要の文字は、横線で消すこと。ただし、数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。